

人との関わりの中で

表現することを楽しむ子に

先月の「こやうらっこ わくわく広場」では、たくさんの方の保護者の皆さまにご参加いただき、ありがとうございました。また、家庭よりたくさんの方の廃材を持ってきていただいたり、大きなダンボールを抱えて運んでくださる保護者の方の姿に、子どもたちと一緒に行事を楽しみにしてくださっているのだなと感じました。

子どもたちは自然物や様々な廃材や素材、用具を使い、イメージを膨らませ、もの作りをしたり、作ったもので遊ぶ事を楽しみました。普段は、その楽しさを友だちや先生と共有していますが、当日は、お家の人と共有できたことで、満足感を味わい、「それいいね、こんなことができるんだね」など、認めてもらうことが自信になったと思います。子どもたちがやりたいことを実現するためには、どうすればいいのかを自分で考えて繰り返し試すことが、子どもたちの次に向かう力、意欲となります。

保護者の方からのアンケートでは、「親子で一緒に楽しむことのできるコーナーがたくさんあり、楽しい時間を過ごせた」、「小屋浦ならではのマッカや川、橋、神社が素敵だった」「子どもたちが展示物を作っている様子の写真やコメントもあり、普段の園での様子を知ることができた」などの感想を聞く事ができました。ものを作ること、絵を描くこと、音楽に合わせて歌うことや踊ること、自分の気持ちを伝えることなど表現する力は、子どもたちの成長に欠かせない力です。

先日、乳児クラスの保育参観でも、一人ひとりが表現することを楽しんでいる姿が多く見られました。2歳児クラスの子どもたちは、大好きな絵本「おばけぞろぞろ」の中に出てくるいろいろなおばけに変身し、かくれんぼあそびをしました。見つからないように隠れることを楽しんだり見つけることに

わくわくしたり、方法はそれぞれが違っていました。が、ありのままの自分を表現していました。0・1歳児クラスの子もたちは、ペットボトルの中に、どんぐりやじゅず玉を「ポットン!」と入れたり、お家の人と一緒に、マスキングテープを貼るなどして、楽器作りをしました。それを手に持ち、音楽に合わせてリズムカルに身体を動かして楽しみました。その様子は「みんなちがって、みんなかわいい!」でした。

表現力が豊かになると、スムーズにコミュニケーションがとれ、協調性や社会性が身についていきます。子どもの表現力を伸ばすには子どもの話を積極的に聞いたり、いろいろな人と関わる機会を作ることや五感(みる・きく・さわる・あじわう・においをかぐ)を刺激する体験をさせることが大切であると言われています。お子さんの気持ちや考えを尊重しながら、大人が何でも先回りをせず、子どもが決められることは自分で決めさせる、自分で考える時間を作ってあげてみてください。人との関わりの中で、心の中で感じたことを表現する活動を楽しみながら豊かな感性と表現する力を育てていきたいと思えます。

3日(土)には幼児クラスの生活発表会を行います。各年齢なりに表現することを楽しみます。子どもたちは自分たちのがんばっている姿をお家の人に見てもらい、誉めてもらうことで自信をつける機会になります。

お家に帰ってから練習での友だちや先生とのやりとりを話したり、やって見せたりしていることでしょう。見てもらうことが嬉しかったり、ドキドキしたりと様々な姿を見せることと思いますが、日々の保育の中で「どんなふうに」「どんな思いで」という子どもたちの気持ちに寄り添いながら子どもたちの成長の機会となることを願っています。

園長 柳楽 薫

～ひかりあそび～

お部屋のなかだけじゃないよ
園庭でも光と影あそび「きれい」
「ふしぎ」・感じたことを言葉やあそびの中で表現しています。



ダンボール箱で
いろいろ遊べるね

大きな
ダンボールでも
小さな
ダンボールでも
シューッ



だれか
はいつてる?

ばあーっ!



ぺったんぺったん
おもちつき

餅つきの由来は、奈良時代の記録によると「伊勢神宮などに鏡餅が備えられていた」と書かれています。餅を食べる習慣は、武家の年中行事が商家へと伝わり、商家から農家へ。農家では、神仏や農具に餅を供え、豊作と家内安全を祈ったそうです。

保育園では、20日にお餅つきをして、お正月の準備をします。

詳細については、後日きっぷノートで配信します。

年末・年始のお休みについて

12月29日(木)～1月3日(火)まで長いお休みになります。ついつい夜更かしや食べ過ぎになりがちですが、「早寝・早起き・朝ごはん」の毎日の生活リズムを崩さないように心がけましょう。

新年は、1月4日(水)から通常の保育となります。この日は愛情弁当の日です。

小さな畑に
種をまこう



うんとこしょ!
絵本の中のお話を
楽しませます

